

設問 1

私は小学生で、経験の積み重ねが乏しいため、どうしても、知識から入ることしかできない。例えば、戦争の体験談を聞く機会があった時、起きた出来事やつらい感情はわかって、「経験しなければわからない」と言われ、なにも言葉にできなかった。経験に勝るものはないのだと痛感したけれど、私の年齢で全てを経験することは不可能なので、つらく、苦しい経験だった。

一方、私の友人は博学で、同じ小学生なのに物事をよく知っている。遠足に行ったとき、同じ班になり、野草のまとめをすることになった。友人は、遠足の最中、たくさんの野草に気づいていた。「あれは〇〇だ。まだ春先なのに、もう咲いている。自然界は夏になっているのかな」とか「これ、◇◇だよ。初めて見た」と目を輝かせながら、写真を撮ったり、メモをとっていた。日の当たり方や土の質も見ている、知識がたくさんあることによって、たくさんの気づきがあるんだとわかり、うらやましかった。

経験は、100の言葉や文字に勝る。同じ経験をした人同士ならば、「あれ」とか「それ」で通じ合えるので、とても濃いコミュニケーションになる。知識は、実際に体験したことがなくても、言葉や文字を駆使して、共有できるし、時代や空間を超えて、伝えることができる。

私は、経験できることや経験することで成長できることは積極的に経験し、経験することが不可能なことは、知識を通じて共有、共感することが大切だと考える。経験を優先する人には、経験したことがないことを知識を通じて共感する「体験」を一緒にしたい。また、知識を優先する人には、知識が、過去の人類の経験を元にしていう「知識」を共有して考えたい。

言い争うのではなくて、一緒に経験し、一緒に知識に触れることが大切なのではないかと考えている。

設問 2

私は、たくさんあるエネルギーの中で、自然エネルギーを取り上げたい。私の家は太陽光パネルがあり、電気はほぼ家でまかなっている。停電の時も、困ることはなかった。全ての家で導入できれば、石油などの化石燃料の消費を抑えられ、温暖化防止にも役立つと思うが、太陽光パネルはとても高いそうで、私のお小遣いも少し減らされた。

学校でも勉強したが、世界各地で、自然エネルギーを活用している。風力、水力、水素、地熱などなど。これだけ広がっているのだから、全世界で協力すれば良いと思うのだが、自然エネルギーを活用した電力は、電圧・電流ともに不安定になることがあるらしい。大きな工場では、機械などが安定して動かなくなることがあるらしい。私の家の太陽光パネルの価格を考えると、全世界で導入するには、膨大な費用がかかるし、石油関連の会社が倒産して、失業者が増えるかもしれない。そうすると学校にこられなくなる友だちがでてくるかもしれない。

エネルギーをなにに頼るか。それを、「すべて」化石燃料に頼りつづけるか、原子力に頼り続けるか、自然エネルギーに頼るか。地球上の全員が同じ状態になるようにするか否か、という問題であるとともに、私たちの生活の在り方を考える必要がある。

自然エネルギーで、現在の化石燃料や原子力と同じように安定した電圧と電流、そして雇用を確保できれば、皆が安心してエネルギー問題を解決できると考える。

エコロジカルフットプリントの HP 診断で、「私の生活」を「地球全員でした場合」、地球が 2 個必要だという結果が出たことがある。それくらい私たちの普通の生活は、環境への負担が大きい。

エネルギー問題では、自然エネルギーを取り上げながら、私たちの生活を振り返るきっかけとしたい。今だけを考えるのではなく、将来を大切にするために。